

人文学部の
今を伝える

人文ニュース<アゴラ>

43巻1号
山形大学人文学部
2011.4.7

Agora

“AGORA”とは、ギリシャ語で“広場”という意味です。

人文ニュース 第43巻1号 <http://www-h.yamagata-u.ac.jp/agora/index.htm>

東北地方太平洋沖地震で被災した学生・ご家族の皆様へ心よりお見舞い申し上げます。
平成23年4月7日 山形大学人文学部長 渡邊 洋一



新たに発見された地上絵 (航空写真)

Agora はフレッシュな 人文学部を伝えます。

Contents

ボランティア学生との対談	02
さまざまな“学び”のカタチ	03
世界に学ぶ～留学のススメ～	04
学生の進路選択を応援します	05
進路状況一覧	06
地域とともに	08

Question

これはいったい何でしょうか？

本学部の研究グループにより、今年度発見された新たなナスカの地上絵 (写真提供: 坂井正人教授) です。山形大学人文学部では、人間社会を考察する様々な研究教育活動が行われています。ナスカの地上絵のプロジェクトは、学部の柱となるプロジェクトのうちの一つです。

(プロジェクトの最新情報は、人文学部ホームページをご覧ください)



地上絵を近くからみた様子

【プレゼントのお知らせ】

大学コンソーシアムやまがたのゆうキャンパス・ステーション (駅前東口から県庁方面に徒歩1分。ミスタードーナツ駅前店近く) にお越しください。2枚の写真とも正解された方先着100名様に、山形大学人文学部特製グッズをプレゼントします。大学生・高校生・市民の皆様のお越しをお待ちしております。



阿子島名誉教授(写真中央)、渡邊学部長(写真左)、坂井教授(写真右)と現地研究協力者との集合写真

山形大学人文学部の「ナスカの地上絵プロジェクト」は、平成16年10月より開始しています。山形大学の予算的な支援により、人工衛星の撮影画像を解析、そして現地調査より、地上絵の分布図を作成しております。学際的研究(文化人類学、地理学、心理学、情報科学)のプロジェクトメンバーは、本学部学部長の渡邊洋一教授(心理学)、阿子島功名名誉教授(地理学)、坂井正人教授(文化人類学)、本多薫准教授(情報科学)です。

きらりと輝く学生～模擬裁判・旬のテーマを真剣に考えます。



毎年恒例の模擬裁判

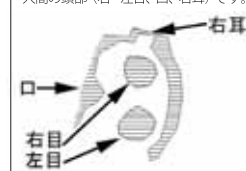
模擬裁判実行委員会は裁判をモチーフとした劇を毎年公演しており、2010年の公演のテーマは『老老介護』でした。高齢者が高齢者を介護することは体力的・精神的に厳しく、相手を想う程、追い詰められてしまいます。近年増加する要介護者を社会で支えることは今後私達が抱える課題の一つです。2011年は少年犯罪をテーマに公演を行う予定です。

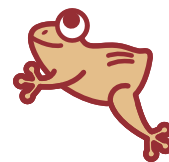
模擬裁判実行委員会委員長

法経政策学科3年 小山悠

答え

人間の頭部 (右・左目、口、右耳) です。





平成22年12月20日(月)に、人文学部として初めて学生ボランティア認定証交付式が行われました。今年度、蔵王龍岩祭、やまがたトークアイ、蔵王温泉盆踊り大会、高湯通りキャンドルナイト等に参加した14名の学生に対し、渡邊学部長から学生ボランティア認定証が交付されました。

渡邊学部長：個人が自発的に取り組むボランティア活動に対し、ボランティア活動の実績の証にできるように認定証の交付を考えました。今回の経験を今後の学生生活に活かしてください。

学部長から認定証を受取り、ボランティア活動学生から報告がありました。

北川副学部長（司会）：昨年からボランティアに参加した方の体験談を、社会連携、地域連携の参考にしたいと思いますので、お話をいただきたいです。

粕谷：4年生の粕谷です。ボランティアを行う「地域づくり研究会」の先輩方から、昨年、ボランティアの説明を受けて参加しました。ボランティアとして参加した蔵王には温かい人々がいます。昨年から関わっていたので顔見知りの人も多く、大学では味わえない感動的な体験をしました。8月末の蔵王の龍岩祭は規模が大きいものでした。地域には熱い思いがあり、盛り上げる姿に影響を受け、学生生活と社会活動の違いを身にしみて感じることができました。もっと早くからやればよかったと思います。

鈴木：3年の鈴木宗人です。地域づくり研究会を通じて参加したとき、地域の人たちが盛り上げようとして情熱をもって活動していました。山形大学の代表として参加しましたが、これからもこのような活動をやっていきたいと思います。

須野：先程の2人と同じく龍岩祭（毎年夏に開催される音楽祭）に参加しました。「ボランティアがボランティアを生んではならない」「いわれなくても動け」が大事です。「力を合わせることは私たちの喜び」ということを学びました。祭自体だけでなく、その前の周到な準備と最後の後片付けも重要なのです。つらいこともありましたが、協力しあって解決していく大きな喜びを味わうことができました。

藤原：トークアイで福祉関係のボランティアを行いました。自分自身も「ボランティアがボランティアを生んではならない」をもとに考えます。龍岩祭にしても私たちのような社会福祉協議会との関係でも大学としての長い付き合いは必要になるでしょう。私の場合に限りませんが、どこまで相手がボランティアを必要するかを理解すると、実際は視覚障害者に過剰に気を使わなくてもよい場合もあります。サンド・テーブル・テニス等の卓球に似たスポーツ、音声パソコン等の技術もあります。ほとんどの視覚障害者が引きこもりになりがちで、役に立つ技術なども知らない場合もあるのです。私たちは、支援しながら自立するためのボランティアを行っています。

ボランティア学生による活動報告を受けて、関係教職員と学生とのフリートークが行われました。

北川副学部長：それではフリーで話をしましょう。

高倉委員：みなさんは「地域づくり研究会」をもとにボランティアを行っているのですか。

粕谷：そうですね。自分は去年の10月でした。大学生活がこのままじゃだめだと思って、地域づくりの楽しさを知りました。地域連携室を訪れ、地域活動のことを知りました。



渡邊学部長・北川副学部長・地域連携室員の懇談会



認証式のあとの記念写真

北川副学部長：人文学部は蔵王温泉組合と8月に協定を結びましたね。学生の皆さん、本当にがんばりましたね。ご苦労様でした。皆さんの中で何か大変だったことはありましたか。

藤原：私の場合をお話します。視覚障害者が、卓球の玉が落ちた時に、どこまで見えているのか私たちにはわかりません。自分がしなければいけないこと、ボールを拾うか拾わないかを判断しなければいけません。あるとき、ボランティアが全員欠席しなければいけないことがありました。どうも、視覚障害者だけでいろいろと試してみようです。「自分でできた。いないときでも、自分たちはできるんだ。」と逆に自信がつく面がかなりあったようです。この前、視覚障害者の方々と、アカデミー賞で外国語賞をとった「おくりびと」を視聴(程度にもよるが、通常音声と音声ガイドナレーションで理解)していた時に、音声ガイドを流したら、「音声があるとうるさいです」、「そうだね」という話をしていました。「赤いネクタイを出していた」については、「(自分には)色がわからないんだから言わなくてもいいのにね」という話もありました。「私たちはゲゲゲの女房(平成21年前半のNHK朝のドラマ)は(音声ガイドがいいから)とても参考になるね。」とかも聞きました。つまり、私が、「人によってこういうことをしたらいいんだ」とかを探するのが大変ですが、それがわかると普段の話から理解することができるんです。

渡邊学部長：トークアイの活動はどこで？また皆さんからしてもらいたいこととしては何ですか？

藤原：人文学部の掲示です。行方先生によくしていただきました。期待していただいているのがよくわかった。

鈴木：来年は「地域づくり研究会」の在校生は3人になってしまうので、新入生も含めて人数を揃えたいです。

藤原：私は卒業前の2月で学生としての活動は終わりますが、多くの在校生にこういう活動もあることを知ってもらえればいいと思います。在校生の皆さんがこれまで行った活動を継承していただきたいと考えているのです。

渡邊学部長：サークルともゼミとも違うものは何ですか？

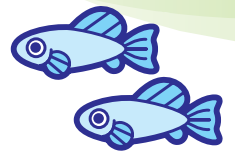
粕谷：社会に出てからの対人関係を学ぶ場を提供していただきました。サークルとは違った役割もとてもいいです。

北川副学部長：最後に代表して、後輩に対してメッセージを。

粕谷：大学生は勉強するだけではいけない。ボランティアなど社会に出るのが大切です。自分たちの知らない常識がわかります。「大学生にとって必要なのは何か」を教えてください。

北川副学部長：どうもありがとうございました。懇談会はここで終わりにさせていただきます。

さまざまな“学び”のカタチ



人文学部では文献読解だけでなく実地調査や実験を組み込んださまざまな授業が開かれています。また授業以外にも地域とかかわる様々な活動が行われています。

心理学実験

心を見る

笑顔は他者からの援助をどの程度引き出すことができるのでしょうか。学生たちは山形の街中に出かけていき、見知らぬ人に笑顔もしくは真顔で道をたずね、相手の表情や反応のちがいを比較します。これはこの実習のメニューのひとつです。心理学実験では、毎週、このような小さな実験や心理検査を行い、目に見えない心を可視化するためのさまざまなスキルを学びます。（人間文化学科 福野光輝）



文化財調査実習

文化財とともに生きるとは

「1000年前に生きた人々の息吹を感じる」。これが、この実習のテーマです。飛鳥、奈良、京都といった古都を、自転車や徒歩でめぐり、今に伝えられた文化財を間近に見ながら、私たちが文化財とともに生きるとはどういうことなのかを考えていきます。1000年前に生きた人々と私たちが、まるで隣り合わせにいるかのような錯覚を覚えることでしょう。（人間文化学科 三上喜孝）



地域づくり特別演習（一）

地域づくりの基本的な知識と技法

地域づくり特別演習（一）は、山形県金山町をフィールドとして地域づくりに関する基礎的な知識と技法を学ぶ科目です。地域づくりに関するテキストの学習、フィールドワーク手法の習得を行ったうえで、金山町での1泊2日の実習を通じて地域価値の重要性やその活用策、アイデアのプレゼンテーション手法などを実践的に学びます。（法経政策学科 下平裕之）



地域づくり特別演習（二）

市民団体の現場を知る

この授業のテーマはNPO（特定非営利活動法人）などの市民団体です。山形市だけで300近い市民団体が福祉・環境・文化芸術・子育てと多くの分野で活動しています（写真は山形国際ドキュメンタリー映画祭の活動の一コマ）。この授業では、市民団体に活躍される方のお話を聞くとともに、実際に市民団体で実習をおこないます。現場での調査方法やプレゼンのスキルも鍛えられますが、何より“現場”を覗けるまたとない機会です。（法経政策学科 松本邦彦・人間文化学科 山崎彰）



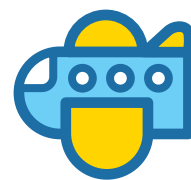
英語力を磨き、ドキュメンタリー映画を調査

山形国際ドキュメンタリー映画祭応募作品を収蔵する「山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー」は、現代史や映像文化の研究にとってとても価値のある施設です。私たち4人の人文学部学生は、収蔵作品の要旨や解説を執筆するという作業を行っています。週に1～2度、フィルムライブラリーにおもむき、ロシアや東欧、ドイツ映画を英語字幕を頼りに内容要約しています。鑑賞ブースで電子辞書を片手に観ていますが、当初は英語字幕を読みとるのに慣れていないため、何度も一時停止しながらメモをしていました。外国の歴史的・文化的背景を含む作品は理解が難しいので、同じ作品を2度、3度観ることもあります。今では徐々に慣れ、スムーズに作業を進められるようになりました。これまでは人文学部の先生方が立てた計画に従って調査していましたが、今年度は私たちの企画も取り入れられ、より学生主体の活動になる予定です。10月の映画祭では、私たちの調査の成果が発表できるということです。（人間文化学科3年 川田希）



現在のメンバー4人。左から堀川啓太、土田修平、松本和也、川田希

世界に学ぶ ～留学のススメ～



学生のうちに一度は海外に出てみませんか？人文学部があなたの勇気をサポートします。
広い世界から、日本をそして自分自身を見つめ直してみましょう。

*交換留学制度、あります。

人文学部では、交流協定を結んだ大学へ留学する交換留学制度があり、安心して長期の海外留学ができます。

交換留学Q & A

Q1 留学期間はどのくらいですか？

A 基本的に1年間です。1年が長いという場合は、半年でも可能です。

Q2 お金はかかりますか？

A 入学金や授業料は免除されます。学生寮を用意してくれる大学もあります。

Q3 卒業単位が心配です

A 留学先で取得した単位を互換することができます（上限60単位）。

Q4 留学先では何が学べますか？

A 留学生向けプログラムを用意している大学もあります。

Q5 協定大学以外の大学に留学したいのですが？

A 全学の交流協定大学（32大学）への留学もサポートしています。そのほかの大学には個人で留学しますが、休学が認められます。



2009年韓国全南大学での実習風景。
伝統楽器チャングに挑戦



2010年ケアンズ実習の最終授業。
現地のフルーツを自分で買って英語で
アピール！

*手軽に海外！ ～「異文化間コミュニケーション」～

長期の留学は不安だというあなたに！夏休み、短期で語学研修・異文化交流をおこなう「異文化間コミュニケーション」が正規の授業として開講されています。

ただの海外旅行とはここが違います

①事前の準備：事前にきちんとした講習会・説明会があるので、初めての海外でも安心です。

②現地での研修：ことばを学ぶのはもちろん、現地学生との交流会、現地の文化体験、ホームステイなどなど多くのメニューがあります。

*短期派遣留学制度を知っていますか？

全学の留学制度で、大学間交流協定を結んだ世界 32 大学へ1学期または1年以内の短期留学ができます。毎年1月頃に募集があり、書類や面接での選考を経た上で派遣が決定されます。現地での授業料は免除、単位互換や奨学金制度などさまざまな特典もあります。さらに語学を磨きたい、海外で学んで見たい方、ぜひ挑戦して下さい。

学部協定大学（締結順）／◎フォートリス大学（アメリカ コロラド州）◎ブリヤート自治共和国ブリヤート国立大学東洋学部（ロシア ウラン・ウデ市）◎広西師範大学（中国 桂林市）◎全南大学校人文大学（韓国 光州広域市）◎ハルビン工業大学外国語学院（中国 ハルビン市）◎デュースブルク・エッセン大学東アジア研究院（ドイツ デュースブルク市）

コロラド州立大学他32の全学協定大学の情報については、全学ホームページをご覧ください。

短期留学に チャレンジ！



昨年夏、全学の短期派遣留学制度を使ってアメリカのコロラド州立大学に約5カ月間留学しました。留学を決断する最初のきっかけになったのが1年の夏休みに参加した異文化間コミュニケーションでオーストラリア・ケアンズに行ったことです。新しい文化や環境に直面し、その時から人との交流を通して色々な文化を深く知りたい、そのために英語力を身につけたいという気持ちが大きくなりました。その後英語学を専攻し、留学生のチューターを経験する中で留学への思いは強くなりました。留学のきっかけを得て、それを実現させるためのプログラムが山形大学にはあります。留学期間中充実した生活を送り、たくさん学べたのもサポートしてくれた大学の方々のおかげだと思うので本当に感謝しています。

（人間文化学科4年 柿崎杏奈）

学生の進路選択を応援します



厳しい採用状況が続く中、山大学生は意欲的に進路開拓に取り組み、成果をあげています。
人文学部でも、新たな授業「キャリア形成論演習」を立ち上げるなど、進路支援に力を入れています。

※※※ キャリア形成論演習

「キャリア形成論演習」では、キャリアカウンセラーが指導するグループワークを通じてキャリア形成を考えます。期待も不安も仲間とシェアすれば心強いはず。採用試験に求められる「コミュニケーション力」も自然に身につきますよ。

※※※ インターンシップ

「インターンシップ」では、自治体・企業・NPO等における研修を通じて、学習意欲と就職に対する意識を喚起し、実社会において必要とされる高い職業意識、自立心と責任感を育成。さらに本学部で学んだ専門的知識と能力を応用し、実践する能力を育成していきます。4月から参加者を募集して、面接等による選考・受入機関とのマッチングをし、6月には派遣学生の決定・履修届を提出します。事前研修・受入機関と学生との打ち合わせを経て、8月から9月には研修を実施（1～2週間）。様々な職業体験を在学中から行い、将来に備えます。

※※※ 実践型就職対策講座

「実践型就職対策講座」の募集は9月から10月で、実施期間は10月から11月になります。講義形式の各就職対策と異なり、少人数制で実践を主とし、「自己分析作業」、「自己PR作成」、「エントリーシート対策」、「模擬面接」の順で行われます。



実践型就職対策講座の様子

※※※ 公務員セミナー

「公務員セミナー」の募集は2月で、実施期間は春休みの2月から3月にかけて行われます。公務員になるための準備にも役立つ、論文や集団討論など、実践的な授業が行われます。多くの先輩が公務員として活躍していますので、現場でも皆さんを温かく迎えてくれると思います。

インターンシップ企業等の例	実習業務の例
鶴岡信用金庫	本部研修*金融機関の役割と仕組み、営業店見学、社会人としての心構えなど
荘内銀行	商品開発・企画、広報・宣伝 銀行に関する知識習得を中心に銀行業務全般
朝日新聞山形総局	新聞紙面製作(マスコミ)*県警、警察署、県庁、市役所等への取材や記者会見への出席。原稿執筆、写真撮影など
岩手日報社	紙面作り全般
山形放送	番組制作 民間放送の番組制作、ニュース制作の現場
山形パナソニック	営業
山形トヨタ自動車	一般事務(総務、経理)、営業*お客様対応、経理伝票処理・整理
ホテルキャッスル	一般事務、営業、接客・サービス、その他(バッドメイク、調理)
山形グランドホテル	営業、接客・サービス
山形空港ビル	一般事務、接客・サービス
宮崎合名社	接客・サービス
小森マシナリー	一般事務(経理・原価、人事・総務)
日東ベスト	製造・品質管理

インターンシップ企業等の例	実習業務の例
精英堂印刷	情報処理、製造・品質管理
山形商工会議所	一般事務、イベント従事(日本一の芋煮会)など
山形県商工会連合会	一般事務(総務) データ入力・表作成、出納事務、その他庶務
山形創造NPO支援ネットワーク	広報・宣伝、情報処理など
NPO国際ボランティアセンター山形	営業、広報・宣伝、途上国の教育支援プロジェクトのサポート、地球子どもキャンプのサポート、東北国際協力コースフォーラム
山形国際ドキュメンタリー映画祭	広報・宣伝、映像ワークショップ補助など
鶴岡市農業協同組合	産直館での接客、生産物の集荷出荷
山形県・岩手県・山形市・寒河江市・天童市・新庄市・尾花沢市・大蔵村・鶴岡市・酒田市・高畠町・飯豊町	一般事務、土木、建築、一般農業、林務、科学、接客、サービス、イベント従事
厚生労働省山形労働局	一般事務(統計事務補助等)、広報・宣伝
国土交通省東北地方整備局 山形河川国道事務所	監督・施設管理 *現場監督体験、河川堤防・道路等施設管理
ピアソープ	一般事務 *税理士補助業務
山形県司法書士会	司法書士業務全般(書類作成、相談。法務局、裁判所等)
山形県議会	行政事務

キャリアサポートセンターに 来てみませんか

学生センター2階のキャリアサポートセンター(5月から1階に引っ越します)。常に親身なスタッフがお待ちしています。専門カウンセラーが、みなさんの相談にのっています。就職活動に必要な情報を集め、早めに行動しましょう。



山形大学独自の 学生就職支援制度



首都圏において就職活動する学生を対象に、夜行バス料金の半額を山形大学が支援します。対象期間は、平成23年3月1日(火)から平成23年6月30日(木)までです。対象路線は山形市⇨東京、米沢市⇨東京、鶴岡市⇨東京で、採用試験(公務員・教員等を含む)及び企業説明会に行く場合、往復料金の半額(片道のみ支援対象外)を、1人2回まで補助します。山形大学では、学生の首都圏での就職活動も応援します。

平成22年度 卒業生進路状況

平成23年3月4日現在

学科名		卒業 予定者数	進学 予定者数	その他	就職希望 者数(A)	就職内定者内訳				就職率 B/A
						企 業	公務員	教 員	計(B)	
人間文化学科	男	21	0	4	17	8	5	0	13	76.5%
	女	77	2	13	62	43	11	1	55	88.7%
	小計	98	2	17	79	51	16	1	68	86.1%
法経政策学科	男	118	2	23	93	59	32	0	91	97.8%
	女	100	5	15	80	48	23	0	71	88.8%
	小計	218	7	38	173	107	55	0	162	93.6%
合 計	男	139	2	27	110	67	37	0	104	94.5%
	女	177	7	28	142	91	34	1	126	88.7%
	小計	316	9	55	252	158	71	1	230	91.3%

平成22年度卒業生進路状況一覧

業種／就職先	人間文化学科		法経政策学科	
	男	女	男	女
建設業	0	0	4	1
小坂工務店				1
佐藤工業			1	
セキスイハイム東北山形支社			1	
東日本ハウス			1	
北海道パワーエンジニアリング			1	
製造業	0	4	6	4
アイジー工業				1
阿部長商店		1		
市光工業				1
SUS		1		
クレヨン				1
国際文献印刷社		1		
シナノケンシ			1	
進和ラベル印刷			1	
多田木工製作所		1		
パロマ山形営業所				1
三菱アルミニウム			1	
ヤガイ			1	
ヤマハ中国投資有限会社			1	
ユアテック			1	
情報通信業	1	5	5	4
アイテックス		1		
インフォテックノ朝日				1
NDソフトウェア			1	
NECネットイノベーション		1		
NHK		1		
NHK盛岡放送局		1		
NTTデータアイ		1		
オーネスト			1	
仙台放送			1	
テレビユー山形				1
テレビ小山放送	1			
東北ユーザック			1	
メディアサイト				1
ランドコンピュータ				1
ワークスアプリケーションズ			1	
運輸業	0	0	1	1
アジアナ航空会社				1
東日本旅客鉄道（水戸支社）			1	
卸売・小売業	3	8	9	9
大沼デパート				1

業種／就職先	人間文化学科		法経政策学科	
	男	女	男	女
カワチ薬品				1
コマツ山形		1		
椿本興業	1		1	
JOMOネット				
生活協同組合コープあいづ		1		
仙都魚類	1			
山洋電気	1			
ツルハ				1
東京エコー		1		
トステムビバ		1		
ドッドウエルビー・エム・エス			1	
トヨタカロース山形				2
野川商事		1		
バイタルネット			2	
ハニーズ				1
フジ・コーポレーション		1		
富士ゼロックス宮城			1	
マクニカ			1	
ヤマザワ				1
ヤマザワ薬品		1	1	
山形パナソニック			1	1
山形酸素				1
リコージャパン			1	
リンベール		1		
金融・保険業	0	7	20	15
秋田信用金庫			1	
いわき信用組合				1
羽後信用金庫			1	
きらやか銀行			5	1
気仙沼信用金庫			1	
七十七銀行			2	1
荘内銀行			2	
仙台銀行		1		
損保ジャパン				1
損保ジャパン（山形支店）		1		
第一生命（山形支社）				1
鶴岡信用金庫		1		
東京海上日動火災保険（山形支店）		1		1
東北労働金庫			2	
日新火災			1	
日本政策金融公庫				1
日本生命保険相互会社		2		2

業種／就職先	人間文化学科		法経政策学科	
	男	女	男	女
三 木 証 券				1
三 井 住 友 海 上 火 災 保 険				1
杜 の 都 信 用 金 庫			1	
山 形 銀 行		1	3	3
山 形 第 一 信 用 組 合			1	
ゆ う ち ょ 銀 行				1
不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	0	0	2	0
マ イ ザ			1	
大 和 リ ー ス			1	
サ ー ビ ス 業	4	14	7	10
ア イ ・ タ ッ ク ル	1			
ア イ ラ イ ン				1
秋 田 し ん せ い 農 業 協 同 組 合		1		
旭 会 計 事 務 所				1
阿 部 長 商 店		2		
ア ル フ ァ ク ラ ブ		1		
ア ン テ リ オ		1		
N T T ソ ル コ				1
オ ー ・ エ フ ・ デ ス ク	1			
扇 屋 商 事				1
河 北 ア ド ・ セ ン タ ー				1
協 同 組 合 山 形 卸 商 セ ン タ ー			1	
財 団 法 人 山 形 県 教 職 員 互 助 会		1		
さ が え 西 村 山 農 業 協 同 組 合	1			
J T B 東 北	1			
J A い し の ま き			1	
J A さ が え 西 村 山		1		
J A 新 ふ く し ま 農 業 協 同 組 合			1	
シ リ ウ ス グ ル ー プ		1		
営 家 経 営 セ ン タ ー		1		
総 合 ス タ ッ プ キ ャ リ ア オ プ シ ョ ン				1
天 童 市 農 業 共 同 組 合			1	
日 本 興 亜 キ ャ リ ア ス タ ッ プ (秋 田 セ ン タ ー)		1		
ニ ラ ク		1		
ハ ー ツ ラ イ フ サ ポ ー ト			1	
パ レ ス 平 安		1		
プ リ ン ト パ ッ ク		1		
マ ル ハ ン				1
み どり の 農 業 協 同 組 合		1		
山 形 市 農 業 協 同 組 合				1
山 形 県 商 工 会 連 合 会			1	1
郵 便 局			1	1
教 育 ・ 学 習 支 援 業	0	3	4	2
学 校 法 人 E S P 学 園			1	
進 学 会			1	
星 学 館 グ ル ー プ		1		
山 形 進 学 プ ラ ザ			1	
東 北 大 学				1
ブ ル ー ミ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン			1	
山 形 大 学		2		1
医 療 ・ 福 祉	0	2	1	2
至 誠 堂 総 合 病 院				2
二 チ イ ケ ア パ レ ス		1		
日 本 赤 十 字 社 山 形 県 支 部		1	1	
公 務 員	5	11	32	23
秋 田 県 庁				1
朝 日 町 役 場				1
荒 川 区 役 所		1		
茨 城 県 警			1	

業種／就職先・進学先	人間文化学科		法経政策学科	
	男	女	男	女
岩 手 労 働 局				1
大 石 田 町 役 場				1
大 江 町 役 場		1		
大 田 区 役 所				1
大 田 原 市 役 所			1	
海 上 自 衛 隊 一 般 曹 候 補 生				1
海 上 自 衛 隊 幹 部 候 補 生 学 校	1			
角 田 市 役 所			1	
神 奈 川 県 警			1	
川 西 町 役 場				1
久 慈 市 役 所			1	
警 視 庁			1	
気 仙 沼 市 役 所			1	
公 正 取 引 委 員 会			1	
国 税 専 門 官	1			
仙 台 高 等 裁 判 所		1		
仙 台 市 消 防 職 員			1	
仙 台 市 役 所			1	
伊 達 市 役 所		1		
千 葉 県 警				1
鶴 岡 市 役 所			1	
天 童 市 役 所			1	
東 京 消 防 庁			1	
東 京 都 庁			1	1
東 北 財 務 局				1
東 北 地 方 更 正 保 護 委 員 会			1	
東 北 労 働 局		2		1
栃 木 県 警			1	
栃 木 県 庁			1	
長 野 県 庁	1			
中 山 町 役 場			1	1
名 取 市 役 所				1
浪 江 町 役 場		1		
新 潟 県 庁			1	1
福 島 県 庁		1		1
福 島 市 役 所		1		
宮 城 県 学 校 事 務		1	1	
宮 城 県 警			1	
宮 城 県 庁	1		1	
村 山 市 役 所				2
目 黒 区 役 所		1		
山 形 県 警			3	1
山 形 県 庁	1		4	3
山 形 市 役 所				1
山 形 地 方 検 察 庁			1	
山 辺 町 役 場				1
米 沢 市 役 所			2	
教 員	0	1	0	0
神 奈 川 県 川 崎 市 (高 校 ・ 国 語)		1		
大 学 院 / 進 学	0	2	2	5
山 形 大 学 大 学 院 社 会 文 化 シ ス テ ム 研 究 科		2	1	
東 北 大 学 法 科 大 学 院			1	1
信 州 大 学 大 学 院 経 済 ・ 社 会 政 策 科 学 研 究 科				1
早 稲 田 大 学 大 学 院 法 務 研 究 科				1
一 橋 大 学 大 学 院 商 学 研 究 科				1
上 越 教 育 大 学 大 学 院 学 校 教 育 研 究 科				1

これらの数値は3月4日現在のものであり、最終発表は5月の山形大学のホームページをご覧ください。 山形大学ホームページ⇒就職情報⇒就職状況⇒人文学部 <http://www.yamagata-u.ac.jp/index-j.html>

地域とともに

人文学部では、学生だけでなく地域の皆様にもご参加いただける公開講座・学術講演会を実施するとともに、地方自治体や海外大学・研究機関とさまざまな交流をしています。

今年度の公開講座

◇前期公開講座

人間文化学科

「遠い方言、近い方言」

日程 平成23年6月2日～16日

「方言」とは、いったいどのようなことばなのでしょう。ごく身近にあって、他のどのことば以上に「自分のもの」と感じられるにも関わらず、その定義は必ずしも明らかではありません。今回の講座では、国境・時代を超えた様々なジャンルの専門家から、「方言」が作り出される過程、そして「方言」から生まれる言葉や人同士の関係を語って頂きます。



◇後期公開講座

法経政策学科

「いま政治に求められるもの（仮題）」

日程 平成23年9・10月を予定

2009年8月の衆議院選挙における

民主党勝利は、歴史的な政権交代をもたらしました。当初の期待感は一瞬に失望感へと転じたものの、この政権交代は良くも悪くも政治に対する興味を喚起する役割を果たしました。本講座では、今政治に求められるものは何かという問題について考え、政権交代の意義、地域主権、国際化と政治、メディアと政治、市民の政治参加といった内容に注目していきます。



人文ニュース

デュースブルク・エッセン大学
東アジア研究院との協定

➤平成22年12月10日<

人文学部はデュースブルク・エッセン大学東アジア研究院（ドイツ）と学部間交流協定を締結しました。1972年に創立された2つの大学が合併され設立された大学で、学生数約31,800人を有する大学です。日本からも70余名が留学しています。本学部と海外大学との交流協定としては、6件目になります。今後、研究交流、学生交流などを進めていく予定です。

キャンパス風景



都市・地域研の山辺町との
連携協定

➤平成22年12月21日<

本学部教員を中心とした山形大学都市・地域学研究所（所長：松尾剛次教授）と山辺町は、相互が有する人的・物的資源を有効活用し、地域社会の発展と人材育成に寄与するとともに、相互の発展を目指し連携協力を行うための協定を締結しました。これまでも、常設国際司法裁判所長安達峰一郎博士に関する研究や講演会開催などを行ってきました。

関係者の記念写真



「共振する東アジア2ー
東アジアの言語の将来」を開催

➤平成23年2月19日<

台湾の中山大学中国文学系教授 林慶熙氏ほか4名の講師を迎え、東アジアにおける言葉に関する様々な可能性にスポットを当てた国際学術講演会を開催しました。「山形から東アジアへ飛びだそう！言葉は私たちをつなぐ架け橋」をサブタイトルに、日本と台湾の第一線の研究者による刺激的で貴重な話が数多くありました。

シンポジウムの様子



日本資本主義発展と村山の地主豪農ー
「柏倉家文化村まつり」でゼミ報告／町民と議論ー

➤平成22年10月3日<

日本経済史ゼミ（岩田浩太郎教授）は、中山町のNPO法人「柏倉家文化村」が主催する「柏倉家文化村まつり」で、4年生6名・3年生4名が2つの班をつくり、それぞれ「九左衛門家の有価証券投資」及び「惣右衛門家の貸付と投資」と題する報告をおこないました。



報告の様子

人文学部主催講演会
「映画『改宗』とタイ映画の現状」

➤平成22年11月2日<

映画『改宗』（タイ、2008年）の共同監督の一人であるコン・リッディー氏と山形国際ドキュメンタリー映画祭東京事務局の藤岡朝子さんをゲストに迎え、映画の現状について講演会を開催しました。講演会に先立ち、『改宗』の上映が行われました。



講演するコン・リッディー監督（右）

人文学部OGが語る日本近代文学研究ー
女性研究者裾野拡大セミナーー

➤平成22年11月2日<

本学部OGで研究者として活躍されている赤間亜生氏（仙台文学館学芸室長）と水野麗氏（秋田高等専門学校講師）のお二人を講師に招き、セミナーを開催しました。日本近代文学の研究についての説明の他、女性研究者としての様々なご意見をいただきました。



講演会の様子

人文ニュース 第43巻1号

○発行／山形大学人文学部 ○編集／人文学部広報委員会 ○発行日／平成23年4月7日
〒990-8560 山形市小白川町1-4-12 電話 023-628-4203（総務チーム）
<http://www-h.yamagata-u.ac.jp/agora/index.htm> E-mail : jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

※本学部の最新情報については、ホームページをご覧ください。山形大学人文学部 <http://www-h.yamagata-u.ac.jp>
※昨年度で退職・転出された教職員、今年度の新任教職員のご挨拶は順次ホームページに掲載する予定です。

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。